

令和 7 年 1 月刊行

———— 「安全と安心を支えます」 ————

令和 6 年

火災と救急・救助の概要



山 形 市 消 防 本 部

も く じ

1	火災の状況	1
2	市町別の火災の状況	1
3	主な出火原因別件数	2
4	山形市分団別（地区別）・町別出火件数	2
5	月別出火件数	3
6	時刻別出火件数	3
7	覚知別出火件数	3
8	初期消火実施件数	3
9	初期消火で使用した器具別件数	4
10	過去10年間の火災状況	4
11	過去10年間の住宅火災の件数及び死者の推移	4
12	住宅用火災警報器設置状況調査の結果	5
13	過去5年間の救急出動件数	6
14	過去5年間の市町別救急出動件数と搬送人員及び高齢者搬送数	6
15	月別救急出動件数	6
16	過去5年間のバイスタンダー応急手当実施状況（心肺停止傷病者対象）	7
17	過去5年間の各種応急手当講習受講者数	7
18	過去5年間の救助出動件数	8
19	警戒出動件数	8
20	P A連携出動件数	8
21	航空機対応出動件数	8
22	用語解説	9

1 火災の状況

区 分	令和 6 年	令和 5 年	前年比
出 火 件 数	32	57	▲ 25
建物火災	21	32	▲ 11
林野火災	1	3	▲ 2
車両火災	6	4	2
その他の火災	4	18	▲ 14
焼 損 棟 数	33	60	▲ 27
全 焼	8	18	▲ 10
半 焼	3	3	0
部 分 焼	9	26	▲ 17
ば や	13	13	0
建物焼損床面積(㎡)	1,414	2,773	▲ 1,359
建物焼損表面積(㎡)	43	352	▲ 309
林野焼損面積(a)	1	11	▲ 10
死 者	0	3	▲ 3
負 傷 者	4	19	▲ 15
損 害 額(千円)	62,513	127,680	▲ 65,167

2 市町別の火災の状況

区 分	山 形 市			山 辺 町			中 山 町		
	令和 6 年	令和 5 年	前年比	令和 6 年	令和 5 年	前年比	令和 6 年	令和 5 年	前年比
出 火 件 数	29	50	▲ 21	3	6	▲ 3	0	1	▲ 1
建物火災	20	29	▲ 9	1	3	▲ 2	0	0	0
林野火災	1	2	▲ 1	0	1	▲ 1	0	0	0
車両火災	5	4	1	1	0	1	0	0	0
その他の火災	3	15	▲ 12	1	2	▲ 1	0	1	▲ 1
焼 損 棟 数	32	56	▲ 24	1	4	▲ 3	0	0	0
全 焼	8	17	▲ 9	0	1	▲ 1	0	0	0
半 焼	2	3	▲ 1	1	0	1	0	0	0
部 分 焼	9	24	▲ 15	0	2	▲ 2	0	0	0
ば や	13	12	1	0	1	▲ 1	0	0	0
建物焼損床面積(㎡)	1,266	2,601	▲ 1,335	148	172	▲ 24	0	0	9
建物焼損表面積(㎡)	43	346	▲ 303	0	6	▲ 6	0	0	0
林野焼損面積(a)	1	10	▲ 9	0	1	▲ 1	0	0	0
死 者	0	2	▲ 2	0	1	▲ 1	0	0	0
負 傷 者	4	15	▲ 11	0	4	▲ 4	0	0	0
損 害 額(千円)	60,456	120,531	▲60,075	2,057	7,077	▲ 5,020	0	72	▲ 72

●過去 5 年の出火率

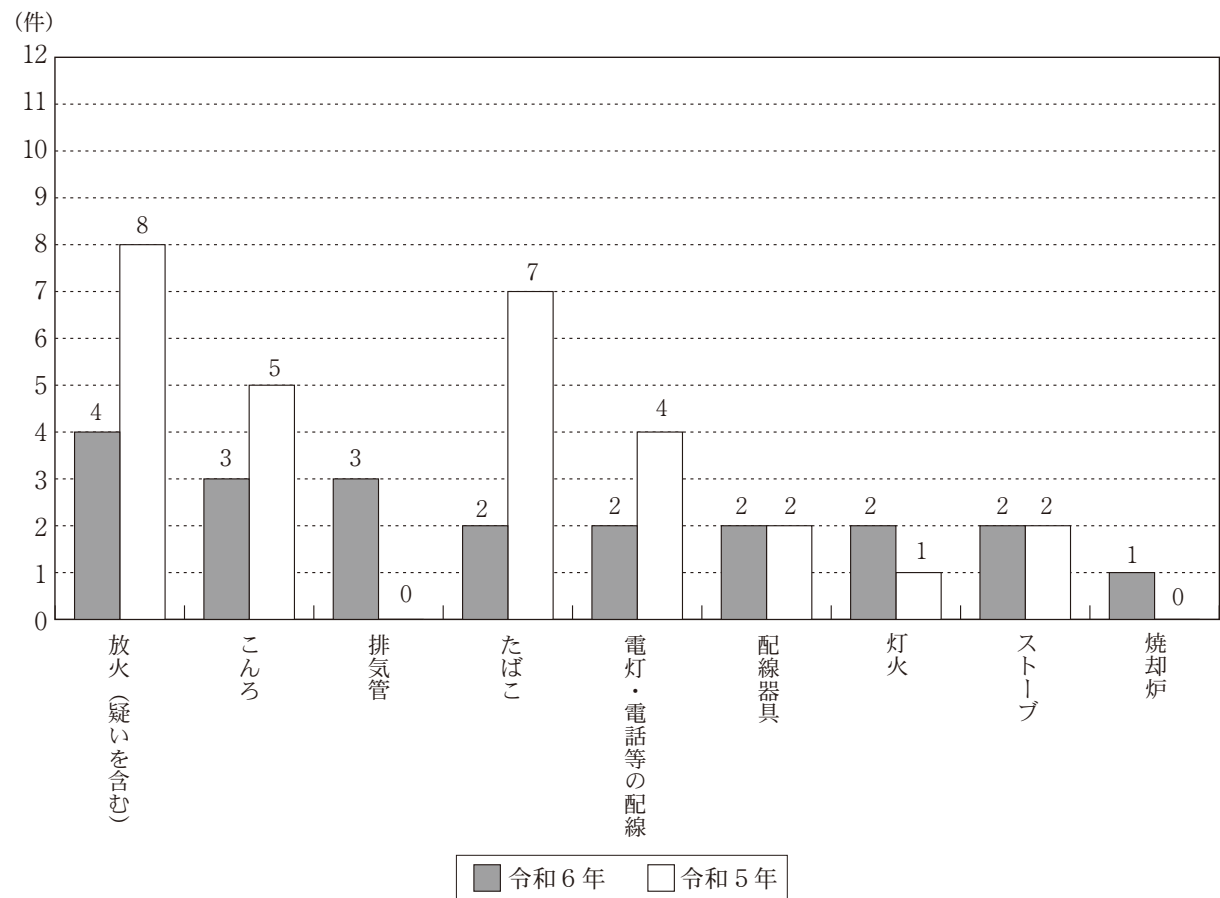
区 分	令和 6 年	令和 5 年	令和 4 年	令和 3 年	令和 2 年
山 形 市 管 内	1.2	2.1	1.9	1.8	1.4
山 形 県	—	3.1	2.7	2.9	2.9
全 国	—	3.0	2.9	2.8	2.7

●市町別出火率

区 分	令和 6 年	令和 5 年
山 形 市	1.2	2.0
山 辺 町	2.3	4.5
中 山 町	0.0	1.0

- (備考) 1 「山形市管内」とは、平成23年12月1日より山形市で消防事務を受託した山辺町、中山町を含めたものです。
2 「出火率」とは、人口1万人当たりの出火件数をいいます。
3 令和6年1月1日現在の人口 山形市241,802人、山辺町13,225人、中山町10,256人 合計人口265,283人

3 主な出火原因別件数



4 山形市分団別(地区別)・町別出火件数

分団別	1 本庁	2 本庁	3 鈴川	4 東沢	5 滝山	6 蔵王	7 飯塚・榎沢	8 南山形	9 本沢	10 西山形	11 村木沢	12 大曽根	13 金井	14 大郷	15 明治	16 出羽	17 千歳	18 楯山	19 高瀬	20 山寺	21 南沼原	山辺町	中山町
建物火災	4	6	1			2	1	1								2	1		2			1	
林野火災										1													
車両火災				2									1								2	1	
その他の火災		1			1								1									1	
合 計	4	7	1	2	1	2	1	1	0	1	0	0	2	0	0	2	1	0	2	0	2	3	0

5 月別出火件数

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建 物 火 災	2	3	3		1	2	1		2	4	1	2
林 野 火 災				1								
車 両 火 災		1					1	1				3
その他の火災		1	1		1					1		
合 計	2	5	4	1	2	2	2	1	2	5	1	5

6 時刻別出火件数

時刻別	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
建 物 火 災								1	2	2	2	2	1		3	1		1	1	2	2		1	
林 野 火 災									1															
車 両 火 災									1	1	1	1					1						1	
その他の火災															1					1	1	1		
合 計	0	0	0	0	0	0	0	1	4	3	3	3	1	0	4	1	1	1	1	3	3	1	2	0

7 覚知別出火件数

覚知別	119			警察 電話	加入電話			駆け 付け	事後 聞知	その他	合 計
		固定電話	携帯電話			固定電話	携帯電話				
建 物 火 災	15	6	9						5	1	21
林 野 火 災	1		1								1
車 両 火 災	4	1	3						1	1	6
その他の火災	3		3						1		4
合 計	23	7	16	0	0	0	0	0	7	2	32

8 初期消火実施件数

区 分	出火件数	初 期 消 火			
		実施数	実施率	成功数	成功率
建 物 火 災	21	15	71%	9	60%
林 野 火 災	1	1	100%	0	0%
車 両 火 災	6	2	33%	1	50%
その他の火災	4	2	50%	1	50%
合 計	32	20	63%	11	55%

(備考) 初期消火の成功とは、初期消火を実施したものうち、火災鎮圧（火災の拡大の危険性がなくなったもの）に主として効果があった場合をいいます。

9 初期消火で使用した器具別件数

区 分	合 計	消 火 器	水 道 汲み置き等	寝具・衣類を か け た	そ の 他
初期消火実施数	20	12	6	1	1
初期消火成功数	11	5	4	1	1

(備考) 初期消火の成功とは、初期消火を実施したもののうち、火災鎮圧（火災の拡大の危険性がなくなったもの）に主として効果があった場合をいいます。

10 過去10年間の火災状況

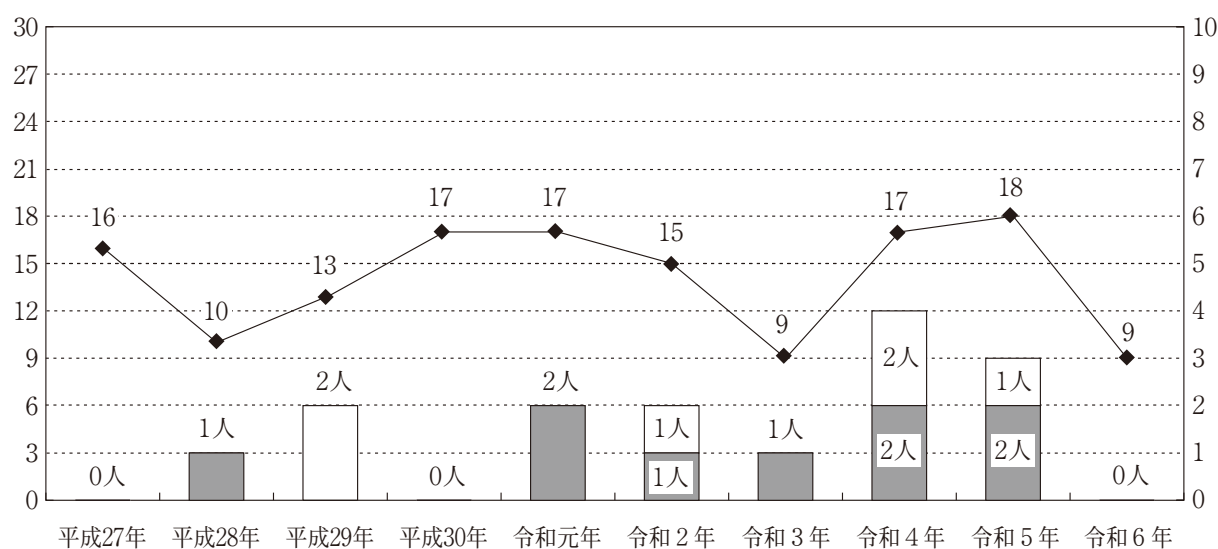
年 別	出 火 件 数					死 者		負傷者	人 口	建物焼損 床 面 積 (㎡)	損 害 額 (千円)
	建物	林野	車両	その他		高齢者					
平成27年	53	31	3	5	14	1	1	13	279,450	5,527	347,985
平成28年	38	20	2	7	9	1	1	18	278,023	935	72,144
平成29年	46	29	1	6	10	2	0	7	278,544	621	41,358
平成30年	44	28	1	4	11	2	1	10	277,101	1,366	110,175
令和元年	47	30	1	5	11	2	2	10	275,652	2,243	156,093
令和 2 年	38	26	0	3	9	2	1	7	273,518	1,371	95,177
令和 3 年	48	24	2	12	10	2	1	7	271,625	1,789	71,275
令和 4 年	52	33	1	6	12	4	2	9	269,919	2,389	137,800
令和 5 年	57	32	3	4	18	3	2	19	267,692	2,773	127,680
令和 6 年	32	21	1	6	4	0	0	4	265,283	1,414	62,513

(備考) 高齢者とは、65歳以上を対象としています。

11 過去10年間の住宅火災の件数及び死者の推移

(住宅火災件数)

(死者数)



—◆— 住宅火災件数 □ 高齢者以外の死者 ■ 高齢者の死者

12 住宅用火災警報器設置状況調査の結果

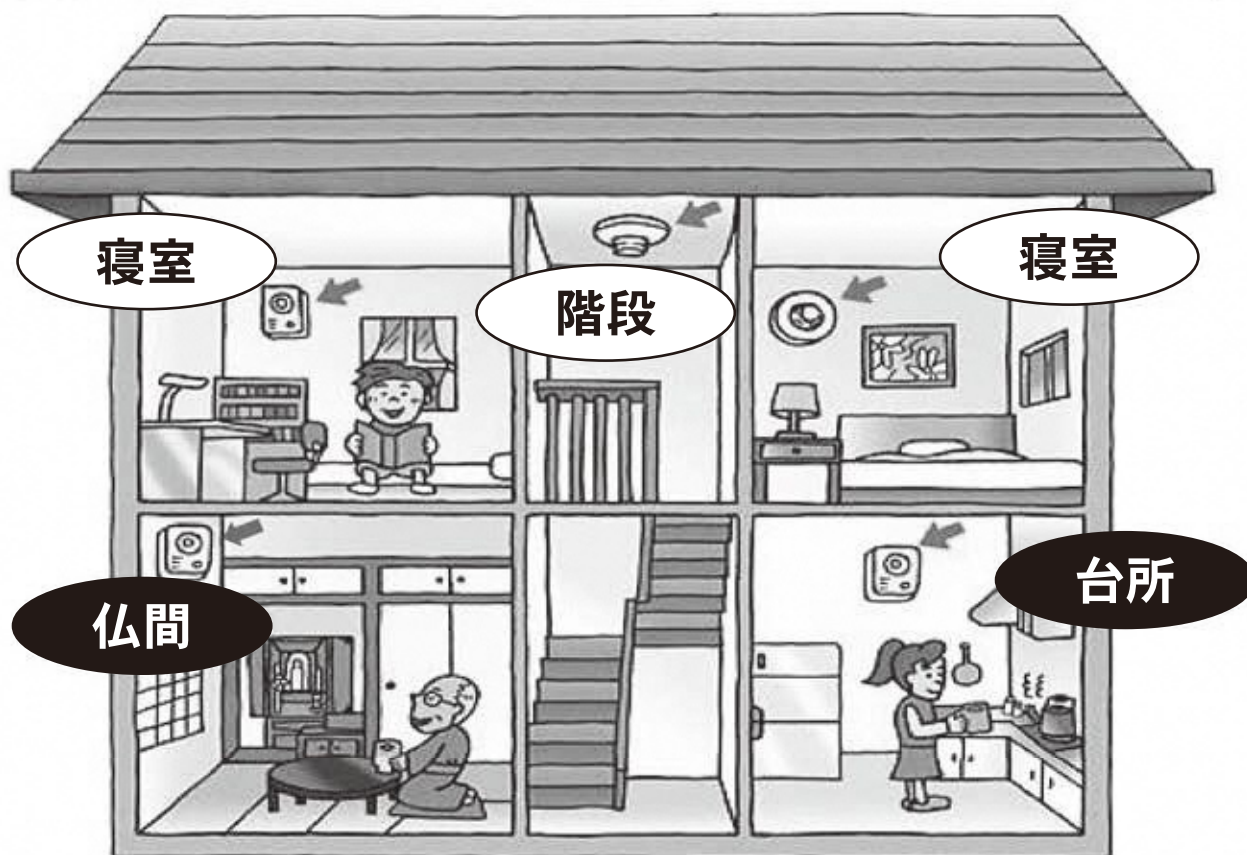
区 分	設置率		条例適合率	
	令和 6 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 5 年
山 形 市 管 内	87.8%	87.7%	70.6%	70.5%
山 形 県	84.4%	83.9%	67.2%	65.9%
全 国	84.5%	84.3%	66.2%	67.2%

(備考) 1 「設置率」とは、設置が義務付けられている部分の一箇所に設置されている世帯の割合です。

2 「条例適合率」とは、設置が義務付けられている部分の全てに設置されている世帯の割合です。

**住宅火災から大切な命を守るために
煙式の「住宅用火災警報器」を適正な位置に設置しましょう！**

-  取り付けが義務付けられている所（寝室や階段）
-  取り付けをおすすめする所（台所や仏間など火を使う場所）



素材提供 (一社)日本火災報知機工業会

※設置してから10年が経過したものは、電子部品の劣化や電池切れて火災を検知しなくなることがありますので、本体を交換しましょう。

13 過去5年間の救急出動件数

年	事故種別	火災	自然災害事故	水難事故	交通事故	労働災害事故	運動競技事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		合計
												転院搬送	その他	
令和2年		53	4	2	487	87	58	1,435	25	85	6,455	1,268	111	10,070
令和3年		47	0	0	473	87	42	1,607	19	104	6,723	1,282	81	10,465
令和4年		64	1	2	504	99	59	1,800	12	120	8,066	1,202	113	12,042
令和5年		84	0	1	554	94	61	1,966	18	96	8,459	1,302	112	12,747
令和6年		31	4	2	537	92	68	1,934	17	91	8,459	1,380	132	12,747
前年比		▲53	4	1	▲17	▲2	7	▲32	▲1	▲5	0	78	20	0

14 過去5年間の市町別救急出動件数と搬送人員及び高齢者搬送数

市町別 年	合 計			山 形 市			山 辺 町			中 山 町		
	出動件数	搬送人員		出動件数	搬送人員		出動件数	搬送人員		出動件数	搬送人員	
			高齢者			高齢者			高齢者			高齢者
令和2年	10,070	9,431	6,413	9,284	8,693	5,867	437	413	306	349	325	240
令和3年	10,465	9,778	6,607	9,690	9,047	6,063	447	424	315	328	307	229
令和4年	12,042	11,186	7,484	11,096	10,288	6,825	578	548	410	368	350	249
令和5年	12,747	11,873	7,788	11,773	10,948	7,100	539	511	377	435	414	311
令和6年	12,747	11,997	8,018	11,784	11,086	7,365	532	498	361	431	413	292
前年比	0	124	230	11	138	265	▲7	▲13	▲16	▲4	▲1	▲19

15 月別救急出動件数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和5年	1,086	942	919	935	981	1,014	1,179	1,403	1,054	1,023	1,027	1,184	12,747
令和6年	1,146	1,015	1,031	989	960	989	1,086	1,203	1,001	1,011	1,099	1,217	12,747
前年比	60	73	112	54	▲21	▲25	▲93	▲200	▲53	▲12	72	33	0

16 過去5年間のバイスタンダーによる応急手当実施状況

年	区分	心傷 肺病 停者 止数	バイスタンダーによる 実施傷病者 応急手当数	応急 手当 実施 率 (%)	応急手当の内容		
					胸 骨 圧 迫	人 工 呼 吸	Aに除 Eよ細 Dる動
令和2年		271	183	67.5	183	13	2
令和3年		251	168	66.9	168	12	4
令和4年		330	235	71.2	223	14	1
令和5年		286	197	68.9	197	14	5
令和6年		285	194	68.1	194	9	3
前年比		▲ 1	▲ 3	▲ 0.8	▲ 3	▲ 5	▲ 2

(備考) バイスタンダーとは、救急現場に居合わせた人(発見者、同伴者等)のことを指します。

17 過去5年間の各種応急手当講習受講者数

年	区分	指 導 員 講 習	指 導 員 再 講 習	普 及 員 講 習	普 及 員 再 講 習	上 級 救 命 講 習	普 通 救 命 講 習 Ⅰ	普 通 救 命 講 習 Ⅱ	普 通 救 命 講 習 Ⅲ	救 命 入 門 コ ー ス	普 通 救 命 講 習 Ⅰ ス テ ッ プ ア ッ プ	上 級 救 命 講 習 ス テ ッ プ ア ッ プ	そ の 他	合 計
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数
令和2年	回数	2	0	1	0	4	41	2	5	44	—	—	—	99
	人数	16	0	17	0	121	907	39	73	1,151	—	—	—	2,324
令和3年	回数	3	6	3	4	4	42	2	8	49	0	2	7	130
	人数	20	25	40	23	98	666	39	111	999	0	36	23	2,080
令和4年	回数	3	0	2	0	1	43	2	8	67	0	1	1	128
	人数	21	0	22	0	39	709	40	85	1,263	0	12	3	2,194
令和5年	回数	5	5	4	4	6	62	4	11	113	1	2	3	220
	人数	30	37	26	15	150	1,224	75	172	2,443	1	31	18	4,222
令和6年	回数	7	2	6	3	3	57	5	16	186	0	2	2	289
	人数	32	13	32	8	107	1,106	87	197	4,300	0	38	4	5,924
前年比	回数	2	▲ 3	2	▲ 1	▲ 3	▲ 5	1	5	73	▲ 1	0	▲ 1	69
	人数	2	▲ 24	6	▲ 7	▲ 43	▲ 118	12	25	1,857	▲ 1	7	▲ 14	1,702

18 過去5年間の救助出動件数

年 \ 事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
令和2年	32	16	0	7	3	10	3	0	26	97
令和3年	5	23	3	0	2	22	2	0	47	104
令和4年	8	19	2	0	1	35	1	0	59	125
令和5年	17	25	1	0	0	25	3	0	60	131
令和6年	11	28	1	0	3	41	3	0	54	141
前年比	▲ 6	3	0	0	3	16	0	0	▲ 6	10

19 警戒出動件数

年 \ 種別	危険排除		緊急確認		風水害等	合計
	油漏えい	ガス漏えい	警報設備	その他		
令和5年	65	4	150	79	8	306
令和6年	64	4	159	86	16	329
前年比	▲ 1	0	9	7	8	23

20 P A連携出動件数

年 \ 種別	救命支援	交通支援	活動支援	合計
令和5年	201	31	105	337
令和6年	387	52	141	580
前年比	186	21	36	243

21 航空機対応出動件数

年 \ 種別	ドクターヘリ	消防防災ヘリ等	合計
令和5年	53	0	53
令和6年	53	0	53
前年比	0	0	0

22 用 語 解 説

火災種別

建 物 火 災	建物又はその収容物が焼損した火災。
林 野 火 災	森林、原野又は牧野が焼損した火災。
車 両 火 災	自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災。
その他の火災	空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積場、軌道敷、電柱類等の火災。
爆 発	人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象。

救急事故種別

火 災	火災現場において直接火災に起因して生じた事故。
自然災害事故	暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故。
水 難 事 故	水泳中（運動競技によるものを除く）の溺者又は水中転落等による事故。
交 通 事 故	すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故。
労働災害事故	各種工場、事業所、作業所、工事現場等において就業中発生した事故。
運動競技事故	運動競技の実施中に発生した事故で、直接競技を実施している者、審判員及び関係者等の事故。（ただし、観覧中の者が直接に運動競技用具等によって負傷したものは含み、競技場内の混乱によるものは含まない）
一 般 負 傷	他に分類されない不慮の事故。
加 害	故意に他人によって傷害等を加えられた事故。
自 損 行 為	故意に自分自身に傷害等を加えた事故。
急 病	疾病によるもので救急業務として行ったもの。
そ の 他	転院搬送、医師・看護師搬送、医療資器材等の輸送、その他のもの。

救助事故種別

火 災	火災現場において、直接火災に起因して生じた事故。
交 通 事 故	交通機関相互又は単一の衝突及び接触事故、若しくは歩行者との接触事故。
水 難 事 故	水泳中の溺者又は水中転落による事故。
風水害等自然災害事故	風水害等、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故。
機械による事故	エレベーター、プレス機等の建設機械や工作機械による事故。
建物等による事故	建物等に閉じ込め・挟まれ事故、門、柵等建物に付帯する施設による事故。
ガス及び酸欠事故	一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等。
破 裂 事 故	火災事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故。
その他の事故	上記の事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたもの。

警戒出動種別

危険排除	油 漏 え い	灯油、重油、車両の燃料、オイル等の漏えいによる出動。
	ガス漏えい	都市ガス、L P G等の漏えいによる出動。
緊急確認	警 報 設 備	警報設備の誤作動等による出動。
	そ の 他	上記の種別に当てはまらないもの。（疑煙調査、誤報、いたずら）
風 水 害 等		異常な自然現象により生じる災害から、人的・物的被害の軽減を図るための出動。

P A連携出動種別

救 命 支 援	通報の内容から、傷病者が心肺停止であると判明したとき、又は心肺停止となるおそれが高い事案。
交 通 支 援	幹線道路上等での交通事故等の救急事案で、消防隊等の支援が必要な事案。
活 動 支 援	傷病者の複数発生又は搬送等のため、消防隊等の支援が必要な事案。 傷病者及び居合わせた市民又は救急隊員に危険が及ぶ可能性がある事案。

航空機対応出動

消防防災ヘリ、ドクターヘリ等の回転翼航空機離発着に伴う誘導や、傷病者及びその現場で活動する救急隊員の安全管理を実施する消防隊の活動をいう。

119 番に迷ったときは…

24 時間健康・医療相談サービス

山形市・山辺町・中山町の方が対象です

病院に行った方が
いいのかなあ？



救急車を呼んだ方が
いいのかなあ…？



家族の健康状態が
気になるなあ…？



ケガをしたけど、応急手当は
どうやるのかなあ…？

0120-023-660

※非通知設定ではご利用できません

専門スタッフが24時間無料で、わかりやすくアドバイスいたします
あくまでも電話相談です。不安に思ったら医師の診察を受けてください

問合せ：山形市消防本部通信指令課 023-634-1198

山形市消防本部

〒990-0041 山形市緑町四丁目15番7号

TEL：総務課 (023)634-1199	：予防課 (023)634-1195
：警防課 (023)634-1197	：通信指令課 (023)634-1198
：救急救命課 (023)634-1193	：市民防災センター (023)643-1191
：東消防署 (023)634-1194	：西消防署 (023)643-6119
FAX：消防本部 (023)624-6687	：市民防災センター (023)643-1193
：東消防署 (023)635-0981	：西消防署 (023)644-9489